

シマフクロウの森を育てよう！ プロジェクト

NEWS LETTER

発行日：2012. 1. 31 発行：日本野鳥の会 野鳥保護区事業所



「シマフクロウの森を育てよう！プロジェクト」の1年間の活動を皆様にお届けいたします。



ミズナラの苗木の紅葉（2011.11.09.知床）

知床地区で広葉樹 2,000 本を植樹！

（2011年6月）

2011年6月6日に、知床地区で広葉樹の苗木2,000本を植樹しました。前年度に植樹を実施した区画と合わせ、同地区では2haの伐採跡地に4,000本の苗木を植樹^{※1}したことになります。

植樹後の苗木の活着状況はおおむね良好です。知床の夏の日差しを浴びて順調に生育し、現在は、降り積もった雪の下で、来年4～5月の雪解けの時期を待っています。

百年先にシマフクロウがすめる森を目指して、2009年にスタートした「シマフクロウの森を育てよう！プロジェクト」は、ご賛同いただいた皆様のご支援・ご協力を得ながら、着実に歩みを進めています。

知床地区の植樹予定地は残り1haとなり、2012年度に第三弾の植樹を実施する予定です。ご賛同頂いている皆様には、引き続き活動へのご支援・ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

※1：ケヤマハンノキ、ミズナラ、カツラ、ハルニレ、イタヤカエデの5種類の広葉樹を植樹



知床地区 2011年植樹区画全景
（2011.10.20.知床）



イタヤカエデの苗木
（2011.08.09.知床）

定期巡回・管理作業・調査 (2011年1月～12月)

■定期巡回

2011年1月～12月の期間、根室の協賛区画の定期巡回を26回、知床の協賛区画の定期巡回を18回行いました。巡回は、根室の野鳥保護区事業所に常駐するスタッフが行い、写真撮影や苗木の生育状況確認などを行っています。巡回結果はホームページやブログで公開しています。

【シマフクロウの森を育てよう！プロジェクト】

WEB <http://www.wbsj.org/nature/hogoku/fishowl/index.html>

【保護区パトロール日誌】

WEB <http://yacho-hogoku.seesaa.net/>



苗木の生育状況を確認するレンジャー
(2011.06.07.根室)

■管理作業（下草刈り）

植樹した場所をそのまま放置しておくと、ササなどの草本が繁茂してきます。そうになると苗木に十分に日光が届かなくなり、苗木の生育が悪くなってしまいます。そこで、植樹後5年間は、年1回～2回の頻度で下草刈りを実施することにしています。

2011年度は、根室地区では7月25日に、知床地区では7月26日と9月15日に、下草刈りを実施しました。作業はそれぞれ別海町森林組合と網走地区森林組合に委託して実施しました。



根室地区の下草刈りの様子
(2011.07.25.根室)

■苗木の生育状況調査

苗木の生育状況を把握するため、根室地区（9月26日）と知床地区（10月19日～20日）で、これまでに植樹した4,800本の苗木の生育状況調査を実施しました。

北海道の厳しい自然環境の中での植樹事業のため、その中で枯死（全体で約20%）した苗木も確認されました。しかし、一定の枯死は織り込んで植樹本数を決めていることや、枯死木が50%を超えなければ、炭素吸収量算定の当初の想定から外れることにはなりませんので、現状での生育状況に問題ないことを確認できました。



苗木の生育状況調査の様子
(2011.10.20.知床)

トピックス (2011年1月～12月)

■「環境プランニング学会による現地評価」

～2011年度も『優良』認定を獲得！～

「シマフクロウの森を育てよう！プロジェクト」では、環境プランニング学会（会長：山本良一、東京大学名誉教授）から第三者評価を受けています。この第三者評価では、植栽方法や苗木の成長具合などを現地検分し、作業の際に排出した二酸化炭素の量や、活動の記録の管理状況など、プロジェクト全体を総合的に判断し評価をいただいています。

これまで2009、2010年度の評価で「優良」認定を獲得し、2011年度も9月に行われた現地検分の結果、根室地区（2009年植樹）と知床地区（2010、2011年植樹）の評価で、いずれも「優良」認定を獲得することができました。

今後も継続して「優良」認定を受けられるように、シマフクロウの森を育てる活動に取り組んでいきます。



根室協賛区画の現地検分の様子
(2011.09.28.根室)



知床協賛区画の現地検分の様子
(2011.09.29.知床)

■「千人の森キャンペーン」

～1,000人の想いを集めて、シマフクロウの森を育てよう～

2011年度の植樹では、「シマフクロウの森を育てよう！プロジェクト」の1区画を、「千人の森キャンペーン区画（11-040si）」とするキャンペーンを展開しました。

このキャンペーンは、当会が販売する「寄付つきTシャツ千人の森」1枚につき250円を、「シマフクロウの森を育てよう！プロジェクト」に活用し、購入者1,000人で同プロジェクト1区画分（100本植樹/25万円）の植樹を達成しようというものです。4月のキャンペーン開始から9月までの間に、Tシャツ1,000枚を完売しています。協賛区画にはこのキャンペーンをイメージするTシャツ型の看板を設置しています。



Tシャツ型の看板を設置するレンジャー
(2011.06.10.知床)



千人の森キャンペーン区画全景
(2011.10.19.知床)

■「シカ柵の損傷（知床地区）」

雪解け直後の4月、知床地区の巡回時に、協賛区画の斜面下側に位置するシカ柵のフェンスが、長さ100mにわたり支柱からずり落ちているのを確認しました。

知床は冬の積雪が2m以上にもなり、さらに植樹地が傾斜しているため、斜面下側のフェンスに想定以上の雪の重みがかかったことで、シカ柵が損傷したと考えられました。

そこで、シカ柵の設置工事を行った業者と協議し、2010年に設置したシカ柵の補修と、新たに設置するシカ柵については、雪害対策を十分に取ってもらうことにしました。

新たに設置するシカ柵は、2010年区画の柵の一部を撤去し、さらに2012年度に植樹を予定している区画のシカ柵とも連結し、3ha分をまとめて囲う大きなシカ柵を設置することにしました。

シカ柵の補修・設置工事は、5月12日～30日の期間に行い、雪害対策を施したシカ柵（総延長1,420m、高さ2.4m）が、協賛区画を囲っています。



雪の重みでフェンスが支柱から外れてしまったシカ柵（2011.04.22.知床）



シカ柵の損傷について、業者（左）と対応策を協議するレンジャー。（2011.05.27.知床）

■「植樹本数不足問題」

今年度の知床地区の植樹において、業者の手違いにより植樹本数が不足していたことが分かり、8月に補充の植え付けを実施しました。

今年度の植樹は、6月6日に実施しましたが、この時点ではまだ苗木に葉が出ておらず樹種の判別が難しいため、新芽が伸びてきた7月16日に当会レンジャーが現地で確認を行いました。すると2,000本植えられているはずのところ1,943本しか確認できず、苗木が57本不足していることがわかりました。

原因を調べたところ、苗木の納品時に苗木業者も森林組合も本数不足に気付かず作業を進めてしまったことが原因とわかりました。不足分の苗木は苗木業者が負担し、8月2日に森林組合が植樹作業を実施しました。8月9日にはレンジャーが現地で検査を行い、2,000本の苗木が正確に植えられていることを確認しました。

今後は植樹後の確認を遅滞なく行うとともに、業者にも納品時や植え付け時の確認を徹底してもらい、再発防止に取り組んでまいります。

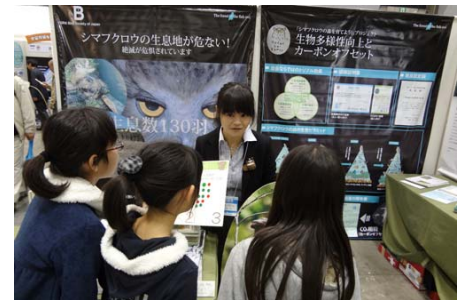


不足分の苗木の植樹が完了し、苗木の点検を行う森林組合の作業員。（2011.08.09.知床）

■「エコプロダクツ 2011」への出展

12月15日～17日の3日間、東京ビッグサイトで日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2011」が開催され（来場者約18万人）、当会はNPO・NGOコーナーに出展しました。当会の展示コーナーでは、絶滅の危機に瀕するシマフクロウの現状や、二酸化炭素の吸収および生物多様性の向上に寄与する「シマフクロウの森を育てよう！プロジェクト」など、当会のシマフクロウ保護の取り組みを紹介しました。

期間中、当会の展示コーナーには、小中学生から一般、企業のCSR部門の方など、約500名の方々が来訪し、実物大のシマフクロウの展示を見て、「日本にもこんな大きなフクロウがいたんだ」という驚きの声や、「シマフクロウを守るための活動に参加したい」といった声が寄せられました。



シマフクロウの生態と保護の取り組みを紹介しました（2011.12.15）

協賛区画の様子 (2011年1月~12月)

■根室地区 2009年植樹区画

○樹種：ケヤマハンノキ、ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ

2009年6月に、広葉樹の苗木800本を植樹してから3年が経過しました。冷涼な気候の中でも苗木たちは着実に成長してくれています。



09-001so
個人向け小口協賛区画



09-002so
大坂知子様協賛区画



09-003so
環境アーリーナ研究機構および
環境プランナー有志協賛区画



09-004so
株式会社シンサナミ協賛区画



09-005so
福見産業グループ協賛区画



09-006so
花王ハートポケット倶楽部・
花王株式会社協賛区画



09-007so、09-008so
加藤康雄様、加藤公満子様
協賛区画

■知床地区 2010年植樹区画

○樹種：イタヤカエデ、ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ

2010年6月に、広葉樹の苗木2,000本を植樹してから2年が経過しました。苗木は大地にしっかりと根付き順調に生育しています。ミズナラやハルニレが、秋に綺麗な紅葉を見せてくれました。



10-001si
竹広茂子様協賛区画



10-002si
宮崎佳文様協賛区画



10-003si
山田暁子様協賛区画



10-004si
辻野もと子様協賛区画



10-005si
株式会社中央運輸協賛区画



10-006si
山本万起子様協賛区画



10-007si~10-016si
渡邊士乃武様・玲子様協賛区画



10-017si
M・K様協賛区画



10-018si
藤原繁太郎様協賛区画



10-019si、10-020si
加藤康雄様、加藤公満子様
協賛区画

■知床地区 2011年植樹区画

○樹種：ケヤマハンノキ、ミズナラ、ハルニレ、イタヤカエデ、カツラ

2011年6月に、広葉樹の苗木2,000本を植樹しました。苗木たちは、協賛区画の中で最初の冬を迎えています。厳しい自然環境に負けず元気に育ってほしいものです。



11-021si
株式会社シンサナミ協賛区画



11-022si
吉居瑞穂様協賛区画



11-023si
佐藤恵美子様協賛区画



11-024si
奥富朝子様協賛区画



11-025si
白井弘子様協賛区画



11-026si
大坂知子様協賛区画



11-027si
竹広茂子様協賛区画



11-028si、11-029si
青山朝子様協賛区画



11-030si
M・T様協賛区画



11-031si
吉居清様協賛区画



11-032si、11-033si
藤原繁太郎様協賛区画



11-034si
矢野のぶ様・矢野雅夫様協賛区画



11-035si
小川りか様協賛区画



11-036si、11-037si
山本万起子様協賛区画



11-038si
常慶晶子様協賛区画



11-039si
協賛者未定区画



11-040si
千人の森協賛区画



みんなでシマフクロウがすめる森をつくろう！

知床地区でプロジェクト第3弾を実施します！

2012年の協賛募集

「持田野鳥保護区シマフクロウ知床」は、知床世界自然遺産地域の隣接地ですが、指定範囲外のため法的な保護指定がされていない場所です。ここには1つがいのシマフクロウが生息しています。しかし民有林の伐採が始まったため、2009年2月に15haを購入・保全しましたが、そのうちすでに伐採されていた約4haに対して森林回復に取り組みます。

■ 募集要項 <お申し込み受付中>

- 「持田野鳥保護区シマフクロウ知床」内
- 1区画 25万円 (100本/500㎡)
- 2012年の募集区画数 20区画 (計1ha)

※募集区画数になり次第、終了させていただきますのでご了承ください

■ 植樹予定

- 2012年6月頃に実施予定
- 区画毎に地元産広葉樹を計100本の植樹を予定
(20区画での本数は、計2,000本)

※区画により樹種の構成比率は変わることがありますが、植樹本数は変わりません。



植樹の様子 (知床地区 2010年植樹)



ケヤマハンノキの苗木 (知床地区 2011年植樹)

公益財団法人 日本野鳥の会

(本件に関するお問い合わせ)

野鳥保護区事業所

担当：松本 潤慶 (まつもと じゅんけい)

小畑 拓也 (おばた たくや)

〒086-0074 北海道根室市東梅115-1

TEL/FAX : 0153-25-8911

携帯電話 : 080-1179-2786

メール : hogoku@wbsj.org

(協賛申し込み先)

サンクチュアリ室

担当：富岡 辰先 (とみおか たつゆき)

竹前 朝子 (たけまえ あさこ)

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2634 FAX : 03-5436-2635

メール : sanc@wbsj.org